

2019年3月期 第1四半期決算 電話説明会 質疑応答

実施日：2018年7月30日(月)
当社説明者：執行役員 経理・IR担当 霜田 朝之
IRグループマネージャー 浅井 一 (司会)

以下は、決算電話説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

Q1) 第1四半期の集客状況及び現時点における東京ディズニーリゾート 35周年イベントの効果は。

A1) 東京ディズニーリゾート 35周年イベントのパレードやリニューアルした「イツ・ア・スモールワールド」がご好評頂いていることにより、第1四半期としては過去最高の入園者数となった。また、7月10日からは、新規ナイトタイムスペクタキュラー「Celebrate! Tokyo Disneyland」もスタートしており、第2四半期以降も周年イベントの効果が続くことを期待している。

Q2) 東京ディズニーリゾート・アプリのオンラインショッピング機能について、第2四半期以降、売上高、営業利益の押し上げ効果をどのように見込んでいるか。

A2) 7月19日にオンラインショッピング機能を公開したばかりであり、機能の認知にはある程度時間がかかることを想定している。中長期的には売上高の増加につながることを期待しているが、今期の業績への影響は、導入初年度ということもあり慎重にみている。

Q3) 第1四半期の海外ゲストの集客状況は。

A3) 訪日外国人の増加に伴い、海外ゲストの集客も順調に推移している。国別では、中国や台湾などのアジア地域に加えて、北米地域からのゲスト数が増加している。

Q4) 対前年同期比較における主なコスト増加要因は。

A4) 東京ディズニーリゾート 35周年関連費用や人件費が期初の見込み通りに増加している。商品・飲食原価率についても、商品の構成変化に伴い増加している。

Q5) 足元で暑い日が続いているが、集客への影響は。

A5) 足元の具体的な入園者数はお答えしていない。パーク内においても様々な暑さ対策を実施しているものの、過去の傾向では、猛暑日が連日続くような場合には来園を一時的に控える傾向にある。

以上